

平成30年度
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



We can
Save the Earth

Minister of the Environment

2018.12.3

目 次

平成 30 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰式次第	1
1. 趣旨目的	2
2. 表彰部門	2
3. 募集対象	2
4. 各部門の表彰の対象とする功績	2
5. 応募状況	3
6. 審査方法及び受賞者の決定	3
7. 受賞者一覧	4
①技術開発・製品化部門	6
②対策技術先進導入部門	9
③対策活動実践・普及部門	14
④環境教育活動部門	21
⑤国際貢献部門	24
【参考】過去の受賞者一覧	26

平成30年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰

日時：平成30年12月3日(月)

会場：イイノホール&カンファレンスセンター

式 次 第

〈表彰式〉

13時 開会

講評

表彰状授与

祝辞

謝辞

閉会

14時 記念撮影

〈情報交流会〉

14時 開始

〈受賞者フォーラム〉

14時45分 開会

主催者挨拶

受賞者発表

選考委員挨拶

16時15分 閉会

平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰

1. 趣旨目的

環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

2. 表彰部門

平成30年度は、昨年度に引き続き以下の5部門において募集をしました。

- ①技術開発・製品化部門
- ②対策技術先進導入部門
- ③対策活動実践・普及部門
- ④環境教育活動部門
- ⑤国際貢献部門

3. 募集対象

各部門における顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。）及び上記の活動において連携や支援を行っている個人又は団体を表彰対象としました。また、表彰対象者は、原則として日本に在住する者又は組織の拠点を日本国内に置く団体に限っています。

※ただし、申請内容と同一の活動あるいは功績により、過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受けているものは表彰の対象としていません。

4. 各部門の表彰の対象とする功績

①技術開発・製品化部門

L2-Tech（エルツーテック）（先導的低炭素技術）※、省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたこと（商品化されていないものを含む。）に関する功績

※L2-Tech（エルツーテック）とは、Leading and Low-carbon Technologyとして、平成26年3月に環境大臣が打ち出した概念。特に先導的な低炭素技術であって、今後の導入普及によって社会全体で大幅な省エネ（CO₂排出削減）を実施することが見込まれるもの。

②対策技術先進導入部門

コージェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物等、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績

③対策活動実践・普及部門

地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動等、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組（活動実績が概ね5年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。）に関する功績

④環境教育活動部門

地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発等継続的な取組（活動実績が概ね5年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。）に関する功績

⑤国際貢献部門

地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林等、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績

5. 応募状況

平成30年6月11日から8月1日までの間、募集を行いました。

その結果、本年度の応募総数は145件となり、各部門に次のような多数の応募がありました。

◆部門別応募件数

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計	割合 (%)
自薦	26	15	33	22	4	100	69.0
他薦	2	7	18	16	2	45	31.0
計	28	22	51	38	6	145	100.0
各部門の割合 (%)	19.3	15.2	35.2	26.2	4.1	100.0	

◆応募件数の推移

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計
平成25年度	42	23	66	61	12	204
平成26年度	45	14	90	41	7	197
平成27年度	25	12	86	42	8	173
平成28年度	30	22	72	53	5	182
平成29年度	24	21	53	46	7	151
平成30年度	28	22	51	38	6	145

6. 審査方法及び受賞者の決定

145件の応募について、平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰選考委員会（委員長：三橋規宏・千葉商科大学名誉教授）で審査を行い、受賞候補者を選定しました。この選定結果を基に、原田義昭環境大臣が計39件（技術開発・製品化部門6件、対策技術先進導入部門10件、対策活動実践・普及部門14件、環境教育活動部門7件、国際貢献部門2件）を受賞者として決定しました。

◆受賞件数の推移

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計	応募数	倍率
平成25年度	9	5	18	10	3	45	204	4.53
平成26年度	7	3	20	7	1	38	197	5.18
平成27年度	8	4	17	6	1	36	173	4.81
平成28年度	10	9	11	7	2	39	182	4.67
平成29年度	8	9	13	7	3	40	151	3.78
平成30年度	6	10	14	7	2	39	145	3.72

7.受賞者一覧

◎：活動主体が複数の場合の代表者

①技術開発・製品化部門(6件)		
受賞者	活動の名称	頁
九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス研究センター	パワー半導体でのムーアの法則：シリコンIGBTのスケーリング則	6
三協立山株式会社	ダイナミックインシュレーションを用いた窓システムの開発	6
株式会社シェルター	木造都市づくりの基盤技術開発	7
株式会社土谷特殊農機具製作所	氷を利用したアイスシェルター(氷室)普及で地球温暖化防止	7
東芝ライテック株式会社	演出照明空間 直流駆動電球型LEDランプ調光制御システム	8
富士通株式会社	液浸冷却システム～サーバの高効率冷却によるCO ₂ 排出削減～	8

②対策技術先進導入部門(10件)		
受賞者	活動の名称	頁
曙ブレーキ工業株式会社	コージェネレーションシステムを中心としたCO ₂ 排出量低減と環境美化推進活動の実践	9
株式会社アリガプランニング	アリガプランニング「積雪寒冷地型「ZEB」の実現」	9
株式会社大林組	大林組技術研究所における再生可能エネルギーを大量導入したスマートエネルギーシステムの構築と運用	10
ONSEN RYOKAN山喜	温泉排湯を利用したヒートポンプと温泉熱交換システムによる脱化石燃料温泉旅館	10
株式会社鈴廣蒲鉾本店	地元産資源を活かした省エネ・創エネ設備の導入	11
積水ハウス株式会社	業務用車両のCO ₂ 排出量削減 ～テレマティクスを活用したエコ・安全運転の推進～	11
◎常石造船株式会社、日本郵船株式会社、株式会社MTI	船舶のCO ₂ 排出量を低減する省エネ付加物装置の導入推進	12
◎東邦ガス株式会社、JFEエンジニアリング株式会社	LNG受入基地における直接混合型BOG再液化設備の開発並びに導入	12
富士ゼロックス株式会社	再生型機を活用した次世代型マネージド・プリント・サービスの導入	13
◎名糖産業株式会社、三菱UFJリース株式会社、木村化工機株式会社、一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	メタノール蒸留工程における廃熱を活用した省エネ・省CO ₂ の取り組み	13

③対策活動実践・普及部門(14件)

受賞者	活動の名称	頁
井村屋株式会社	エコロジカルはエコノミカル。2つのEを目指して。	14
エコネットかまがや	地域で取り組む地球温暖化防止	14
特定非営利活動法人エコロジエオンライン	地球温暖化でつなぐ「地域」と「世界」	15
オムロン株式会社	環境負荷削減活動と社会貢献活動(環境トップランナー of Kyoto)	15
株式会社オリエンタルランド	電力見える化システム(EMS)を活用した節電活動	16
京セラ株式会社 長野岡谷工場	京セラ長野岡谷工場の「地球温暖化防止活動」	16
共和化工株式会社	生ごみ堆肥化技術による資源循環型社会の実践	17
清川メッキ工業株式会社	自由なる創意による継続的改善活動～Iビジョン省エネの取り組み～	17
株式会社ダイフク	(株)ダイフクの環境ビジョン達成に向けた地球温暖化防止と環境貢献活動	18
株式会社デンソー岩手	CO ₂ 排出量1/2化推進と各種団体と協働で行う自然保護活動	18
新潟県新発田市「グリーンカーテンプロジェクトinしばた実行委員会」	グリーンカーテンプロジェクトinしばた	19
丸岡 巧美	ビル・工場への省エネルギー技術と新技術の導入を支援	19
緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム	～緑のリサイクルモデルでストップ温暖化～ 資源循環型肥料の開発から環境創生への取り組み	20
横浜市地球温暖化対策推進協議会	多様な組織と連携した根強く継続的な普及啓発と二酸化炭素削減の 具体的実践活動の展開	20

④環境教育活動部門(7件)

受賞者	活動の名称	頁
エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎 実行委員会	エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎	21
勝井 明憲	地球温暖化防止のための普及啓発活動と地域の活性化に向けた仕組みづくり	21
京都市立朱雀第四小学校	持続可能な未来の環境を考えるあかしや環境学習	22
桑野 恭子	大分県における地球温暖化防止活動	22
丹後の豊かな環境づくり推進会議	地域の魅力を発見する気候変動教育	23
平本 善昭	地域における地球温暖化防止普及活動と環境保全活動	23
三島市ストップ温暖化推進協議会	地域一体となって取り組むバラエティ豊かな地球温暖化対策の推進	24

⑤国際貢献部門(2件)

受賞者	活動の名称	頁
日本電気株式会社	インドにおけるRFIDを活用した貨物輸送の効率化	24
三菱商事株式会社	世界各国での低炭素事業の取り組みと熱帯林・サンゴ礁保全活動	25

パワー半導体でのムーアの法則：シリコンIGBTのスケーリング則

九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス研究センター

住所：〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-4 TEL：093-695-6037
URL：http://power.kyutech.ac.jp/

電気自動車や風力発電などで用いられているシリコンパワー半導体の設計には独特な「スケーリング則」があり、加工精度に応じて飛躍的に性能向上可能であることを示した。LSIと共通設備で高性能デバイスが製造できるため量産性やコストを継続的に改善でき、ムーアの法則と同様に企業の設備投資も促進できる。これにより、シリコンパワー半導体の高性能化の産学連携プロジェクトが開始され、高性能化合物(SiC、GaN、GaO)デバイス開発に対して、低コストで量産性の高いパワー半導体の実現が可能となり、省エネルギー機器等の導入が、先進国のみならず途上国や新興国でも広まり、CO₂排出削減に貢献できる。

量産性の高い低コストパワー半導体を実現するシリコンパワー半導体 (IGBT) 微細化スケーリング則



発電から消費まで、様々な分野で電気エネルギーの高効率利用技術が普及

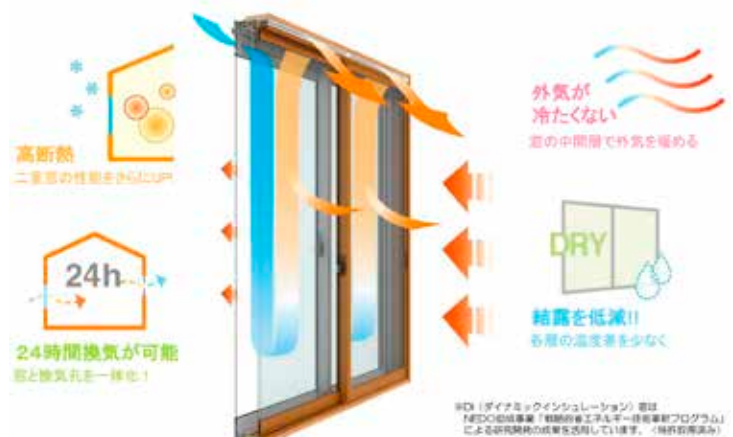
パワー半導体でムーアの法則を目指す新原理

ダイナミックインシュレーションを用いた窓システムの開発

三協立山株式会社

住所：〒933-8610 富山県高岡市早川70番地 TEL：0766-20-2332
URL：http://www.st-grp.co.jp/

超高断熱技術であるダイナミックインシュレーション(DI)技術の窓への適用を検討、基礎となる要素技術の開発や、窓単体および実物件へ設置時の性能評価を通して、住宅において半分以上の熱損失を占める開口部のDI窓を開発。従来の樹脂サッシの10倍の断熱性能である $U=0.2$ を達成し、また、DI窓を適切に住宅に設置するためのマニュアルを整備した。DI窓を市場導入により、H25年省エネ基準の新築住宅における年間暖冷房エネルギー約30～50%削減を可能とする。



窓から逃げる熱を限界まで低減したDI窓

木造都市づくりの基盤技術開発

株式会社シェルター

住所：〒990-2473 山形市松栄1-5-13 TEL：023-647-5000
URL：http://www.shelter.jp/

鉄筋コンクリート (RC) 造・鉄骨 (S) 造と同等の耐火性能となる、木質耐火部材「COOL WOOD」を開発。耐火技術が不可欠である高層・中大規模建築において、階数制限なしの木造建築を可能にした。既に、株式会社シェルターが日本で初めて開発・実用化し、強度・耐震性能が実証されている構築技術の接合金物工法「KES 構法」と併せ、高層・中大規模木造建築を実現する基盤技術を確立。さらに COOL WOOD と KES 構法に加え、斬新なデザインを創り上げる曲線・ひねり木質部材「FREE WOOD」の3つの最先端木造技術を全国へ提供。「環境先進木造都市づくり」を推進する。



環境先進木造都市づくりの基盤技術開発

氷を利用したアイスシェルター(氷室)普及で地球温暖化防止

株式会社土谷特殊農機具製作所

住所：〒080-2462 北海道帯広市西21条北1丁目3番2号 TEL：0155-37-2161
URL：http://www.tsuchiyanoki.com

冬の無限資源である冷熱エネルギーと水を活用した食料貯蔵庫「アイスシェルター(氷室)」を開発。道内において「地域再生エネルギーを活用し、地域の食材・食品の付加価値を高めるプロジェクト」を推進し、19棟の食料貯蔵庫を設置し、実績を作った。国内の寒冷地域のみならず、世界の寒冷地帯での利用が可能であり、ランニングコストがかからず環境負荷のない自然エネルギーの利活用に貢献した。



アイスシェルターは冬の冷気を貯蔵した氷室

演出照明空間 直流駆動電球型LEDランプ調光制御システム

東芝ライテック株式会社

住所：〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL：046-862-2000
URL：http://www.tlt.co.jp

LED照明の普及が急速に進む一方で、繊細なハロゲン電球、ミニクリプトンランプ等の従来光源と全く同じ操作追従性が実現できないなど、いくつかの大きな課題が指摘されていた演出照明において、新たな演出空間用直流駆動電球型LEDランプ調光制御システムを開発。本開発のLED電球は、既設の照明器具を変更することなくLED化でき、劇場やホテルの宴会場のシャンデリア等の演出照明において従来光源と全く同じ「ちらつきのない消灯までの滑らかな調光」を実現、従来と比べ消費電力81.2%削減を達成した。



喝采を照らす演出照明用LEDシステム

液浸冷却システム～サーバの高効率冷却によるCO₂排出削減～

富士通株式会社

住所：〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター TEL：0120-933-200
URL：www.fujitsu.com

一般的な空冷サーバを丸ごと液体に浸漬して高効率に冷却することにより、特殊な液浸サーバを使用せずにデータセンターの革新的な省エネを実現する、液浸冷却システムを開発・商品化した。

サーバを丸ごと冷媒に浸漬して冷却するため、サーバ内部の空冷ファンを回転させる必要がなくなることで、データセンター内の空調が不要になること、液浸冷媒の高い熱伝導性により空冷と比べ冷却水の温度を高く設定できることで、データセンター全体の電力消費量を従来と比較して約40%削減を実現した。



液浸冷却システムによるCO₂排出削減

コージェネレーションシステムを中心としたCO₂排出量低減と環境美化推進活動の実践

曙ブレーキ工業株式会社

住所：〒348-8508 埼玉県羽生市東5-4-71 TEL：048-560-1500
URL：http://www.akebono-brake.com/

システム効率改善とCO₂の削減の活動として、圧縮熱回収蒸気駆動式オイルフリーコンプレッサSDC、スクリュ式小型蒸気発電機MSEG、高効率・小型蒸気熱源マイクロバイナリ発電システムMB-125S、温水熱源マイクロバイナリ発電システムMB-70Hの設置等、ガソリンエンジン発電の廃熱を利用し蒸気を発生させ、その蒸気を温水になるまでエネルギーを効率よく取り出したコージェネレーションシステムの先導的な導入を通して、年間温室効果ガスを1,341トン-CO₂削減し、また約70社に対して施設設備を公開することにより普及活動に貢献



埼玉県羽生市のAi-City(本社)

アリガプランニング「積雪寒冷地型「ZEB」の実現」

株式会社アリガプランニング

住所：〒064-0810 北海道札幌市中央区南10条西12-2-23 TEL：011-520-3160
URL：http://ariga-group.com/

積雪寒冷地において年間のエネルギー収支がゼロ以上になる「ZEB」社屋を完成させた。外皮性能の向上や、外気温の影響を受けない地中熱や井水熱の再生エネルギーの利用、さらに、太陽光発電設備と蓄電池を導入し年間の一次エネルギー収支をゼロに。道内初となるZEB100%（エネルギー消費量106%削減）を達成したビルを完成させた。また、厳冬期の融雪に地中エネルギーのみを使用するヒートパイプを導入。年間81.27トン-CO₂の温室効果ガス削減に貢献した。



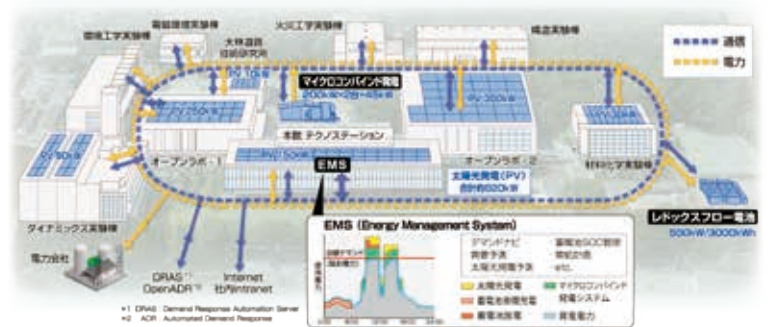
積雪寒冷地型「ZEB」の実現

大林組技術研究所における再生可能エネルギーを大量導入したスマートエネルギーシステムの構築と運用

株式会社大林組

住所：〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 TEL：03-5769-1111
URL：https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20150216_1.html

①大量導入した太陽光発電(PV)の最大限利用とエネルギー消費の見える化による環境負荷低減、②多様な分散型電源の最適制御に必要なPV発電電力予測の精度向上、③商用電力停電時にPV発電電力の最大限利用を可能にする大型蓄電池を電圧源とする自立運転方式導入、④バーチャルパワープラント(VPP)実証参画による商用電力系統への再生可能エネルギー導入拡大、を特徴とするスマートエネルギーシステムを大林組技術研究所に構築し運用することで、3年間累計1,145トン-CO₂排出削減を実現。



大林組技研のスマートエネルギーシステム

分散型電源で構成されるシステムの先駆的な構築・普及により、低炭素社会の実現に持続的に貢献している。

温泉排湯を利用したヒートポンプと温泉熱交換システムによる脱化石燃料温泉旅館

ONSEN RYOKAN 山喜

住所：〒325-0111 栃木県那須塩原市板室844 TEL：0287-69-0214
URL：http://yamaki-onsen.com/

冬期の平均気温が-4℃の寒冷地にある旅館の建て替え時に、「自然エネルギーである温泉を最大限に生かした脱化石燃料温泉旅館」をコンセプトとし、温泉熱の理想的な利用をすべく、設計を行った。客室・浴室・厨房の給湯及び露天風呂の昇温すべてを温泉排湯熱利用ヒートポンプで賄い、温泉熱利用熱交換器で熱交換された温水で、施設内すべてに温水式床暖房を導入。643トン-CO₂/年の排出量削減を実現。



温泉熱による脱化石燃料温泉旅館

地元産資源を活かした省エネ・創エネ設備の導入

株式会社鈴廣蒲鉾本店

住所：〒250-8506 神奈川県小田原市風祭245 TEL：0465-24-3141
URL：http://www.kamaboko.com

太陽光発電・太陽熱給湯システムや、地中熱・地下水換気システム、コージェネレーションシステム、地元産の木材の利用等、多様な技術を融合・導入してZEB本社社屋を建設。一次エネルギー消費量を60.2%削減した。また、社屋で培った取組みを、同グループの製造会社である工場へと活用し、CO₂排出量34%削減を達成した。商品の原材料を育てる海の環境を守り、地元産資源を活かし、ふるさとを未来へと引き継ぐため、地道に省エネ・創エネに取り組んだ。



地元産資源を活かした再生可能エネルギー

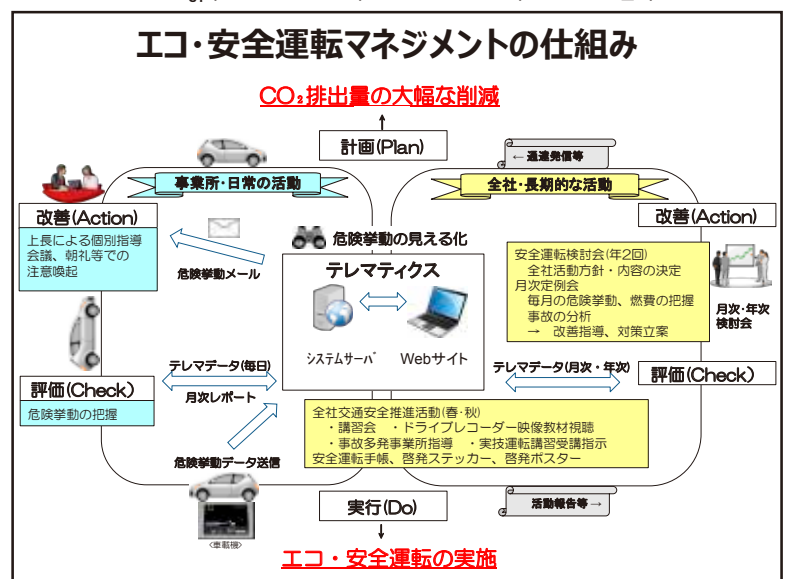
業務用車両のCO₂排出量削減 ～テレマティクスを活用したエコ・安全運転の推進～

積水ハウス株式会社

住所：〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビルタワーイースト TEL：06-6440-3111
URL：https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/environment/balance_6/index.html

事業活動に利用する約6000台の業務用車両に、端末を通して稼働・燃費等の運行情報や、急加速・急減速等の危険運転挙動データ等を提供するシステム“テレマティクス”を搭載。「事業所での日常的な改善活動」と、「全社的、長期的な改善活動」の二つのPDCAサイクルを通じ、エコ・安全運転の推進・習慣化を図った。

これにより、交通事故削減のほか、年間9,230トン-CO₂の削減(2011年度比38.4%減)を達成し、企業が果たすべき社会的責任に同時に取り組み、共に効果を挙げた。



テレマティクスを活用したエコ・安全運転推進

船舶のCO₂排出量を低減する省エネ付加物装置の導入推進

常石造船株式会社、日本郵船株式会社、株式会社MTI

住所：(代表)常石造船株式会社 〒720-0393 広島県福山市沼隈町常石1083 TEL：084-987-1107
URL：https://www.tsuneishi.co.jp/

船舶の燃料消費量およびCO₂排出量を低減する目的で、省エネ付加物装置「MT-FAST」を開発。プロペラ前方に複数のフィンを取り付けることで、プロペラの回転から生まれる旋回流による損失エネルギーを回収し、3～5%と高い燃節効果を生み出す。

本装置は新しく建造する船舶だけでなく既に運航している船舶に対して後付け搭載が可能で、ばら積み貨物船、タンカー、コンテナ船を対象に、500隻以上の搭載を実現。約10年の累計で、134万トン-CO₂削減を達成した。



船舶の省エネ付加物装置「MT-FAST」

LNG受入基地における直接混合型BOG再液化設備の開発並びに導入

東邦ガス株式会社、JFEエンジニアリング株式会社

住所：(代表)東邦ガス株式会社 〒478-0000 愛知県知多市緑浜町1番地 TEL：0562-55-7772
URL：http://www.tohogas.co.jp/

都市ガス原料や火力発電用燃料であるLNGをタンク貯蔵している間に発生するBOG(ボイルオフガス)の処理プロセスにおいて、独自の構造をもつミキサーを採用し、従来型よりもコンパクトで建設費・維持管理費を削減した直接混合型のBOG再液化設備を共同開発した。

当該設備の初号機の導入により、約2年弱の累計で事業所全体の電力使用量14.2%を削減。7,716トン-CO₂の排出量削減を達成した。



消費電力の大幅削減と建設コスト抑制を両立

再生型機を活用した次世代型マネージド・プリント・サービスの導入

富士ゼロックス株式会社

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL：0120-27-4100

URL：https://www.fujixerox.co.jp/solution/dos/service/next_gen_mps.html

複合機やプリンター等の出力機器や運用を管理し、プリントの効用のみを提供するオリジナルのマネージド・プリント・サービスを通して、出力デバイスの最適化、オフィス全体の出力環境の最適化、業務プロセスの最適化を可能とし、環境負荷を低減。

さらに、回収したリユース部材を約80%使用した“再生型機”を活用することにより、全89企業グループ(2015～2017年度実績)でのサービス向上を図りながら、年間4,466トン-CO₂の削減を実現した。

デバイス、ソリューション、再生化の相乗効果で、環境にやさしく
従来より富士ゼロックスが提供していたサービスを統合・進化させ、エコ効果を拡大させる新たなドキュメントアウトソーシングサービスを提供します。

マネージド・プリント・サービス(MPS)ビジネス
当社が出力機器環境を管理し、お客様にプリントなどの効用のみを提供するビジネス形態

再生型機ビジネス
再生型機(使用済の製品を部分分解・洗浄・修理し新品同様の品質にした製品)を活用し、エコ効果(新規資源使用抑制)を具現化できるように製品提供するビジネス形態

省エネ再生型機を活用した「次世代型マネージド・プリント・サービス」



エコ効果を拡大させるドキュメント・サービス

メタノール蒸留工程における廃熱を活用した省エネ・省CO₂の取り組み

名糖産業株式会社、三菱UFJリース株式会社、木村化工機株式会社、一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

住所：(代表)名糖産業株式会社 〒192-8509 東京都八王子市石川町2973-2(八王子工場) TEL：042-642-7521(八王子工場)

URL：http://www.meito-sangyo.co.jp/

医薬品の原薬や添加剤、工業製品の原料、食品添加物などに広く使われている「デキストラン」の製造において使われる「メタノール蒸留塔」の廃熱に着目。「温水ヒートポンプを活用した省エネ・省CO₂型メタノール蒸留設備」を導入、廃熱エネルギーの循環的利用を実現した。

これにより、メタノール蒸留工程における年間の温室効果ガス排出量を60%、933トン-CO₂削減。安価な汎用ヒートポンプによるシステムの構築であり、今後の水平展開が期待される。



ヒートポンプを活用した高効率蒸留システム

エコロジカルはエコノミカル。2つのEを目指して。

井村屋株式会社

住所：〒514-8530 三重県津市高茶屋7-1-1 TEL：059-234-2132
URL：http://www.imuraya.co.jp

井村屋(株)は、2010年にBOXあずきバーのカーボンフットプリント認証を取得し、生産に必要な「熱」と流通時の「冷凍」に係るエネルギーマネジメントの改善を開始。2015年に木質バイオガスボイラーを導入し、稼働させることで主力熱源とするシステムを構築、約3,600トン-CO₂、コスト約112百万円を削減。2016年はNH₃-CO₂冷媒高効率冷凍機や高断熱外装を有す複合冷凍倉庫を稼働し、年間440.9トン-CO₂を削減、パレットあたり電力使用を従来比75%削減。これらにより4,904トン-CO₂のJ-クレジット認証を受け、第27回全国菓子大博覧会における3,700トン-CO₂排出のうち3,655トン-CO₂のオフセットに貢献した。



環境にも人にも優しい事業活動

地域で取り組む地球温暖化防止

エコネットかまがや

住所：〒273-0122 千葉県鎌ヶ谷市東初富3-3-20 TEL：047-445-2832

市環境課と協働で市民配布用のゴーヤ苗を育成、市内各家庭にゴーヤ苗を配布し、グリーンカーテンの普及に努めた。設置数は延べ約400軒に上る。傘生地を利用した「マイバッグ作り」講習会とミニ環境講座には、累計約250人が参加。

また、小学生、幼稚園児対象の環境学習と牛乳パックを活用したエコ工作、市の各種イベントにおける環境啓発活動、千葉県環境財団から受領した資料配布(エコ対策等)および「COOL CHOICE」アンケートの実施などを通し、地域における地球温暖化防止活動推進に寄与した。



～身近な できることから 始めよう！～

地球温暖化でつなぐ「地域」と「世界」

特定非営利活動法人エコロジーオンライン

住所：〒327-0832 栃木県佐野市植上町1331-6 TEL：0283-23-9758
URL：https://www.eco-online.org

環境情報の発信に留まらず具体的な温暖化防止事業を手がけ全国のライブホールZEPPへのグリーン電力証書導入、全国の幼稚園・保育園50カ所以上に太陽光発電施設寄付を実現したほか、再生可能エネルギーによる東日本大震災、熊本地震の被災地支援、マダガスカルでの再生可能エネルギーの活用技術と森林環境教育を実施する里山エネルギースクールを立ち上げた。また、栃木県佐野市のCOOL CHOICE事務局を務め、県内小学校、中学校、高校等に上記支援活動の現状を伝え、地球温暖化防止等を核に国境を越えた交流事業を行っている。



自然エネルギーで国境を越えた課題解決を実践

環境負荷削減活動と社会貢献活動(環境トッパーランナー of Kyoto)

オムロン株式会社

住所：〒600-8530 京都府京都市下京区塩小路通堀川東入 TEL：075-344-7175
URL：https://www.omron.co.jp/

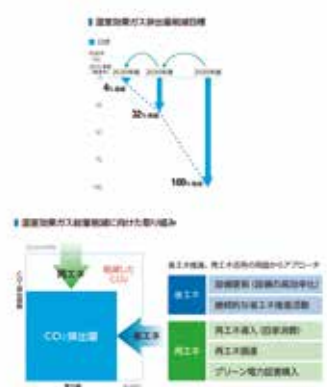
環境ビジョン「グリーンオムロン2020」策定、環境目標「オムロンカーボンゼロ」の設定、バリューチェーン全体での温室効果ガス排出削減取組等を通し、地球温暖化防止に貢献。京都府事業者排出量削減計画の第一計画期間(H23-25)、第二計画期間(H26-28)共に目標削減率の2倍以上を達成(第二計画期間基準量9,542トン-CO₂(H23-25実績)に対し排出量削減率22.5%、原単位削減率22.5%(3年平均))。拠点へのBEMS・FEMS導入、環境配慮製品開発・製造、省エネ運動参加、環境教育実施等、京都府地球温暖化対策指針の重点対策も積極的に実施した。

環境ビジョン：グリーンオムロン2020



環境目標：オムロンカーボンゼロ

2050年度に温室効果ガス排出量ゼロを目指し、2030年度に排出量を32%削減する目標



バリューチェーン全体での温室効果ガス削減

電力見える化システム (EMS) を活用した節電活動

株式会社オリエンタルランド

住所：〒279- 8511 千葉県浦安市舞浜 1-1 TEL：047-305-3053
URL：http://www.olc.co.jp/ja/csr/5daiji/environment/climate.html

主力事業のテーマパークを中心に太陽光発電導入、照明LED化、ターボ冷凍機導入等ハード面の対策に加え、2010年度から各施設に電力計測センサーを順次設置し、電力の見える化システムを活用したソフト面の節電を推進。施設運営当事者を巻き込んだ、組織的な節電活動の結果、策定施策は延べ1千件を超えた。2016年度より中央制御空調の運転時間調整や夜間照明節電等、より効果の高い施策を展開。2010～2017年度の削減効果推計値は約25百万kWh、12,380トン-CO₂となり、小さな改善の積み重ねで大きなCO₂排出抑制に繋がった。



職場の努力とシステム活用で大幅な節電を実現

京セラ長野岡谷工場の「地球温暖化防止活動」

京セラ株式会社 長野岡谷工場

住所：〒394-8550 長野県岡谷市長地小萩3-11-1 TEL：0266-27-2131

工場創業以来、一貫して環境保護、地球温暖化防止活動に取り組み、空調熱源更新やコンプレッサーの集約、排熱利用等の施策により、年間約584トン-CO₂の排出削減効果を上げ、工場屋根に設置の太陽光パネル発電量は約640,440kWh/年、一般家庭約197世帯相当の電力を創出。社内での省エネ・廃棄物分別教育実施、毎年のCSR報告会や夏まつりイベント開催のほか、2007年から社員を講師とした「環境出前授業」を近隣小学校で毎年開催し、延べ6,038名が参加。地球温暖化防止のための実践、普及活動を積極的に行ってきた。



地域と共生 岡谷工場の地球温暖化防止活動

生ごみ堆肥化技術による資源循環型社会の実践

共和化工株式会社

住所：〒141-8519 東京都品川区西五反田7-25-19 共和ビル TEL：03-3494-1311(代)
URL：http://www.kyowa-kako.co.jp

栃木県益子町の家庭系生ごみや地元レストラン等の事業系生ごみを衛生的に堆肥化し、焼却処理と比較してCO₂排出の7割削減、コスト削減に貢献。この堆肥で栽培した農作物を優先的に社のレストランで利用するほか、とちおとめや和綿の栽培に生かし地域ブランド化を進める等、地域に根差した堆肥利用・農業への転換・6次産業化を通して地域に貢献した。また、生分解性プラ袋による生ごみ収集を通じた益子町民のごみ分別意識の向上、小学校園芸への堆肥利用促進、年間約40団体の視察受け入れや現場見学会等を通し、資源リサイクル啓蒙活動も実施してきた。



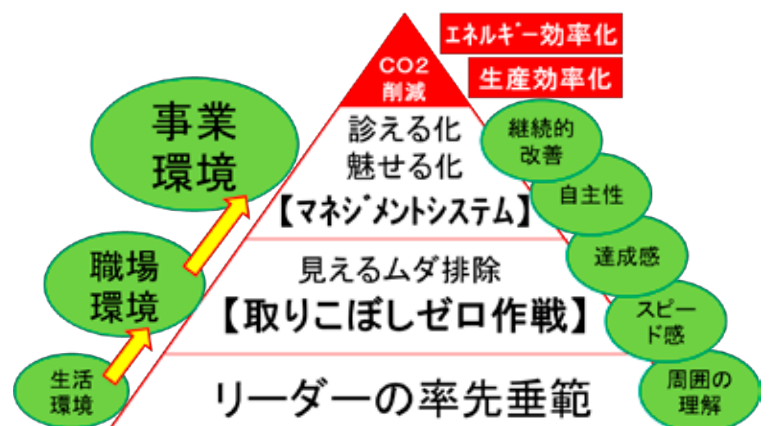
60年の経験と実績、環境のスペシャリスト

自由なる創意による継続的改善活動～Iビジョン省エネの取り組み～

清川メッキ工業株式会社

住所：〒918-8515 福井県福井市和田中1-414 TEL：0776-23-2912
URL：http://kiyokawa.co.jp

会社と各部門が年度方針を定め、その達成に向けチームや個人が現場に応じた目標を設定、社員全員が生産・エネルギーの効率化（電力計測器を活用した取りこぼしゼロ作戦、ジャストインタイムや動作改善、IoTを通じた生産管理の効率化）や社内内外に向けた環境教育を立案、取り組みに繋げる「Iビジョン活動」の実施を通し、全社的かつ継続的に省エネを図り、2017年に2008年比でCO₂排出原単位64.4%削減（2008年：58.4kg-CO₂/百万個⇒2017年：20.8kg-CO₂/百万個）を達成した。



環境活動の目指すべき姿

(株)ダイフクの環境ビジョン達成に向けた地球温暖化防止と環境貢献活動

株式会社ダイフク

住所：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：06-6472-1261
URL：https://www.daifuku.com/jp/sustainability/environment/

事業活動における環境配慮、低環境負荷物流製品・システムの開発・提供を通じ、地球温暖化防止に貢献。2013年からメガソーラーにて年平均約430万kWhを発電し年間約2,200トン-CO₂を削減。2015年はCO₂削減ポテンシャル診断の施策で約300トン-CO₂を、2017年は滋賀事業所工場棟照明LED化で約233トン-CO₂を削減し、物流製品分野では環境ビジョン2020年目標(CO₂削減貢献量10万トン-CO₂・63機種認定)に対し約5万5千トン-CO₂・累計46機種認定も達成。2012年開始の「DAIFUKUエコアクション」制度は目標延べ5,700名に対し2017年度7,474名参加を達成、年約2万人の展示館来館者へ啓発等も行ってきた。



企業活動を通じた地球温暖化防止と環境貢献

CO₂排出量1/2化推進と各種団体と協働で行う自然保護活動

株式会社デンソー岩手

住所：〒029-4593 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山4-2 TEL：0197-44-5311
URL：http://www.denso-iwate.co.jp/index.html

持続可能な地域・社会を目指し、エネルギー1/2、クリーン2倍、グリーン2倍を目標に活動を実施。

エネルギー1/2活動では、生産活動に係るCO₂排出量を2025年までに2013年度比50%削減を目指し、省エネ推進委員会設立、情報の共有化、社員提案募集による全員参加の活動、計画的な省エネ設備導入によるCO₂排出量原単位改善を毎年計画通り実施。2017年度は2013年度比33%削減を達成。グリーン2倍活動では、次世代に豊かな自然を残すことを目指し、地域団体と協働で県有林整備を行い、森林・希少植物保護活動を継続実施してきた。

デンソー岩手の環境活動概要

- 緑豊かな立地の中での環境活動推進**
持続可能な社会と豊かな環境資源の保護に向け、社員参画型の環境活動を推進しています
- 高効率設備の導入：コージェネレーションシステム**
温暖化係数の低い天然ガス化を推進。また、廃熱有効利用により、エネルギー効率向上とCO₂排出量削減に取り組んでいます
- 県有林の整備**
デンソー岩手が使用する水源であり、地域のCO₂吸収を行う森林の整備を、社員と家族のボランティアにより行っています
- 絶滅危惧種の保護**
NPO、行政、地域の方々と連携し、岩手レッドデータブックAランク(絶滅危惧種)の保護活動を開始しました

DENSO Crafting the Cure

CO₂削減活動と地域連携で行う自然保護活動

グリーンカーテンプロジェクト in しばた

新潟県新発田市「グリーンカーテンプロジェクト in しばた実行委員会」

住所：〒957-0015 新発田市東新町1-7-2(NPO法人ユー & ミーの会内) TEL：0254-23-6110
URL：http://www.city.shibata.lg.jp/kurashi/gomi/chikyu/1001177.html

NPO法人「ユー & ミーの会」でゴーヤ苗を作り、市や委員会メンバーが市の施設、保育園・幼稚園や小中学校、市内企業・団体、個人に苗や資材を配布し、栽培指導を継続的に実施（平成30年度は市内約250か所に約720株のゴーヤ苗を配布）。毎年苗植え式やグリーンカーテン料理レシピコンテスト、市内店舗で特別ランチ提供、グリーンカーテン写真コンテスト等を開催し、秋のエコカーニバルにて活動を紹介。さらに、グリーンカーテンの魅力をもとめた環境紙芝居も製作して保育所等に貸出を行う等の活動を通じて、市民にグリーンカーテンと地球温暖化防止の意識を浸透させた。



グリーンカーテンで楽しみながら温暖化防止！

ビル・工場への省エネルギー技術と新技術の導入を支援

丸岡 巧美

住所：〒350-1108 埼玉県川越市伊勢原町1-24-1 TEL：049-234-0553

都立試験研究機関在職中には、中小企業向けの電気機器とその応用に関して試験・研究・講習会を行ったほか、生産現場で計測に基づく省エネ診断を行い、中小企業の生産性及び省エネ技術能力の向上に寄与した。

エネルギー専門員として工場・事業所等に出向き、長年習得した現場技術に基づく省エネ改善提案をし、CO₂削減に大きく貢献した。

技術専門校講師、電気学会小形電動機調査専門委員会幹事、日本技能教育開発センターの添削指導等に従事した。また、専門誌への執筆活動も数多く手がけ、現場技術者の指導育成並びに技術力向上に尽力した。



実験データに基づく省エネ技術と新技術の導入

～緑のリサイクルモデルでストップ温暖化～資源循環型肥料の開発から環境創生への取り組み

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

住所：〒779-1510 徳島県阿南市新野町室の久保12番地(事務局 徳島県立新野高等学校) TEL：0884-36-3215
URL：www.aratano-hs.tokushima-ec.ed.jp

徳島県立新野高等学校、小松島西高等学校勝浦校、小松島高等学校の有志の生徒が中心となり、徳島県や地元の阿南市、勝浦町、とくしま環境県民会議、徳島インディゴソックス球団、地域住民と連携協働し、温暖化防止に向けた節電・省エネ・CO₂の排出削減等、地球に優しい暮らしの在り方を提言、実践してきた。

特に産官学民が連携し高校生・中学生が主体となり、刈草100%の土壌改良材「もつたいない2号」の開発と全国への商品展開を通して、「地域密着型資源循環・脱炭素社会」の構築につながる緑のリサイクルの先導的事例を生み出した。



緑のリサイクルモデルでストップ温暖化！

多様な組織と連携した根強く継続的な普及啓発と二酸化炭素削減の具体的実践活動の展開

横浜市地球温暖化対策推進協議会

住所：〒231-0016 横浜市中区真砂町4-43木下商事ビル4階 TEL：045-681-9910

多種多様なイベントへの参加、学習会、見学会の開催、温暖化対策に取り組む企業等の課題に対し学生が解決提案を行うマッチング会、LED電球や太陽光発電の普及キャンペーンの実施等、多様な組織が連携し社会の実情や市の施策に沿う、創意工夫をこらした活動を継続的に幅広く実施し、延べ約125,000人に対して啓発を行った。

市民・地域の地球温暖化対策推進に貢献し、約1,023t-CO₂削減の成果を上げた。



ゼロカーボンヨコハマに向けて 会員一同

エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎

エネルギー・環境子どもワークショップin川崎実行委員会

住所：〒211-0013 川崎市中原区上平間1480 川崎市立平間小学校 TEL：044-511-6527

市内の小中高校生が集まり、日頃の環境に関する取り組みや学習について発表し学び合うワークショップを開催。毎年度の初めに参加校を募集し、授業の中でブース展示・発表の内容を作り上げ、子どもが創る開閉会式とブース展示・発表、他校の子どもや参観の大人やアドバイザーとの意見交換等を通して、その成果を発信している。

市内の企業、大学、行政機関など幅広い分野からの参加者があり、来賓・アドバイザーも含め約500名。2011年から連続して8回の開催実績は、産官学の協働の面からも好事例である。



川崎最大！子どものエネルギー・環境学習発表の場

地球温暖化防止のための普及啓発活動と地域の活性化に向けた仕組みづくり

勝井 明憲

住所：〒311-0112 茨城県那珂市津田2577-13

2010年度より、地球温暖化に関する11回のシリーズ講演活動をはじめ、市の地球温暖化防止計画策定に関わる活動、環境市民会議の設立、市民によるローカルアジェンダの策定、英語学習教材の作成等、多岐にわたって意欲的に取り組んだ。教育的活動や普及啓発はもちろん、地域の活性化に向けた仕組みづくりに尽力した。



多岐にわたる普及啓発活動と協働の仕組みづくり

持続可能な未来の環境を考えるあかしや環境学習

京都市立朱雀第四小学校

住所：〒604-8482 京都市中京区西ノ京笠殿町164 TEL：075-841-3204
URL：http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=103305

各教科や総合学習の時間を用いてエネルギー問題を中心に地球温暖化問題について、1～6年生まで細部にわたって体系的なカリキュラムに取り組んだ。関わる力・続ける力・考える力・表す力・自己を見つめる力を培い、CO₂削減に向けて自分たちには何ができるのかを考えて行動できる児童を育成、学校だけでなく、家庭や地域でエネルギーをどのように活用するかを考え、地域に発信・実践する教育方針のもとに活動した。



学校・P T A・地域で育てるグリーンカーテン

大分県における地球温暖化防止活動

桑野 恭子

住所：〒870-0901 大分県大分市西新地1-3-5サンビル1階 TEL：097-551-3903
URL：http://npolen.la.coocan.jp/

地球温暖化防止活動推進員、環境省環境カウンセラー、大分県環境教育アドバイザー、大分県新エネルギービジョン推進会議委員、大分県環境影響評価技術審査会委員等を務め、地球温暖化防止等の施策や県民運動の推進に貢献。地域の知恵と人材を活用し、地域課題解決・持続可能な社会づくりを目指し、森林保全活動や生物観察会、農業体験など一般県民への教育を行うとともに、事業者に対しても「エコアクション21 地域事務局おおいた」を運営、幅広い地球温暖化防止活動推進、人材育成に尽力した。



地域が一体となる環境活動を応援します！

地域の魅力を発見する気候変動教育

丹後の豊かな環境づくり推進会議

住所：〒629-2392 京都府与謝郡与謝野町字四辻65番地(事務局：与謝野町役場住民環境課) TEL：0772-43-9030

地域の魅力を発信して豊かな地域社会のイメージを共有することを主眼にし、再エネ工作教室など参加型の手法を取り入れた気候変動問題の啓発活動を6年以上にわたって実践した。また、その形態は子どもに発表の機会を提供することで、その親の参加も得て、子育て世代に対する啓発を狙うなど、工夫が凝らされたものである。地球温暖化防止活動推進員ら地域住民がアイデアと専門的情報を提供し、行政が資金面協力・広報・会場確保を担うなど、構成員の特性を活かした協働によって行われ、脱炭素型の魅力的な地域社会づくりに貢献した。



みんなで知恵を出し合って、企画しています。

地域における地球温暖化防止普及活動と環境保全活動

平本 善昭

住所：〒253-0035 神奈川県茅ヶ崎市浜須賀1-35 TEL：0467-83-8940

神奈川県地球温暖化防止活動推進員を15年以上務め、湘南地区を中心とした地域からの地球温暖化対策の普及を図るため、市民講座や近隣市内の大学生との意見交換、中高生対象の環境学習講座など幅広く活動。茅ヶ崎市温暖化対策推進協議会委員として施策の推進に参加するとともに、市町等の環境イベントでは地域の温暖化に関する情報発信や県が推進する環境保全活動の普及ツールを使用して年10回程度の教育を行うほか、幅広い地域に根付いた普及性の高い活動内容で教育活動に尽力した。



環境市民講座

地域一体となって取り組むバラエティ豊かな地球温暖化対策の推進

三島市ストップ温暖化推進協議会

住所：〒411-0858 静岡県三島市中央町5-5 三島市役所環境政策課(事務局) TEL：055-983-2647
URL：https://www.city.mishima.shizuoka.jp/ipn012315.html(三島市HP 出前講座の紹介)

三島市と連携しながら、9年間にわたって、出前講座やイベント等を通して、総計23,761人に対して教育活動を行った。対象者は幼稚園・保育園児からシルバー世代まで幅広い世代、またその内容は、温暖化対策の必要性や、家庭や個人でも取り組める効果的な省エネ・実践方法について、会話を重視し参加者の目線に立って伝えるスタイルである。これにより、地域の企業・商店、大学、小学生環境探偵団、幼稚園・保育園等、市民の意見を取り入れた新たな企画、地域づくりへと繋がっている。



楽しく、明るいエコ活動！共感を生む環境教育

国際貢献部門

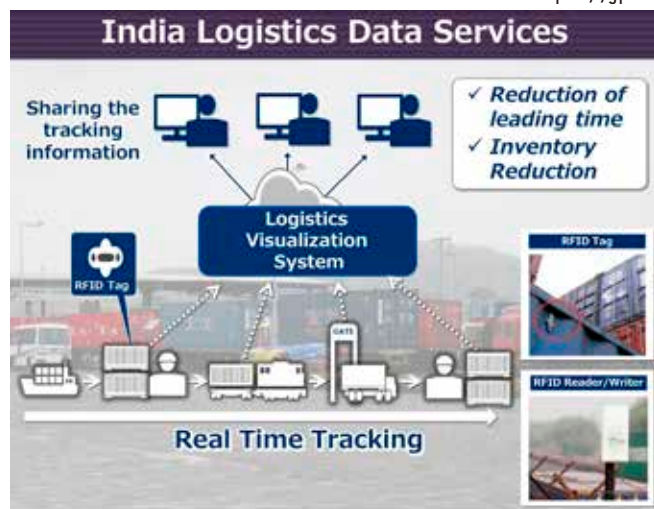
インドにおけるRFIDを活用した貨物輸送の効率化

日本電気株式会社

住所：〒108-8001 東京都港区芝5-7-1 NEC本社ビル TEL：03-3454-1111(代表)
URL：https://jpn.nec.com/

2012年からスタートした日印共同DMICプロジェクトの一貫として、RFID (Radio Frequency Identifier) を利用した物流可視化サービスを提供。デリー・ムンバイ間の幹線道路のゲートにRFIDリーダを配置し、収集されたデータを可視化してコンテナの位置を把握し情報公開。

その結果、「輸送リードタイム短縮」や「在庫削減」、「生産計画の精度向上」、「効率的な輸送」を実現し、港・鉄道・道路等の業務改善、化石燃料の使用量削減を通して、年間約17万トン-CO₂(当社試算)の排出削減を実現した。



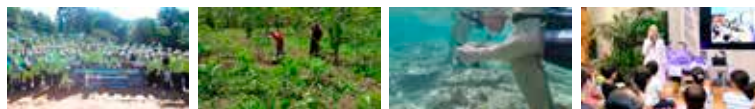
物流可視化によるコンテナ輸送の省エネ化

世界各国での低炭素事業の取り組みと熱帯林・サンゴ礁保全活動

三菱商事株式会社

住所：〒100-8086 東京都千代田区丸の内2-3-1 TEL：03-3210-2121
URL：www.mitsubishicorp.com

日本の企業として初めて「社会環境室」を創設。環境に配慮した経営とサステナビリティ・CSR活動の一環として、海外において国際NGOや団体と協働して永年にわたって活動を行っている。諸外国における再生可能エネルギー普及事業や低炭素技術を用いた発電事業等の低炭素事業の推進や、マレーシア等における熱帯林保全・再生事業での植林、サンゴ礁保全プロジェクトや現地の中高校生・大学生を対象としたESD活動等、多岐にわたる活動を通じて地球温暖化防止に大きく貢献した。



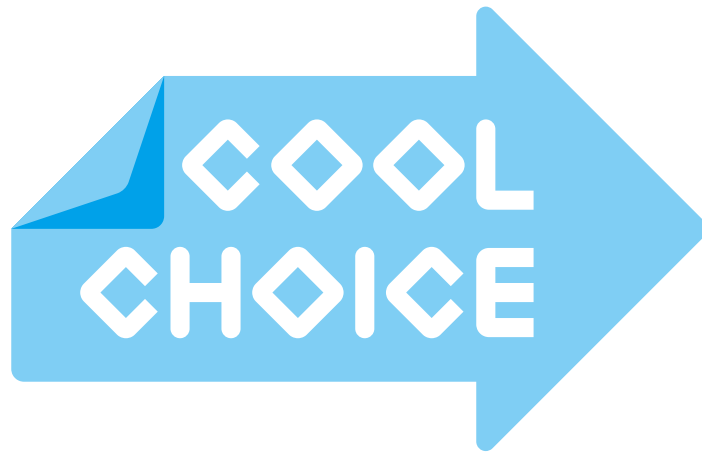
世界各地で取り組む熱帯林再生とサンゴ礁保全

【参考】過去の受賞者一覧

	低公害車部門	リサイクル部門	地球温暖化防止活動実践部門	環境教育・普及啓発部門	国際貢献部門	学術研究部門
平成12年度	(株)神戸エコカー	神奈川県牛乳パックの再利用を進める連絡会 環境にやさしい商品評価委員会 埼玉県川口市 サッポロビール(株)埼玉工場 滋賀県愛東町 富士写真フイルム(株)足柄工場	エコ産業プロジェクト研究会 江北町商工会及びゼロエミッション推進計画事業委員会(佐賀県) ソフトエネルギープロジェクト(横浜市) 豊田市買物袋持参運動(エコライフ)推進協議会 福井県鯖江市 北海道苫前町	(財)くまもと緑の財団 (熊本県環境センター)	国際葛グリーン作戦山南(兵庫県) 徳島ネパール友好協会 ヒマラヤン・グリーン・クラブ(滋賀県)	(該当なし)
平成13年度	東京都北区	八戸エコ・リサイクル協議会 埼玉日本電気(株) 米子地区環境問題を考える企業懇話会 NPO法人中部リサイクル運動市民の会	いちかわ地球市民会議 NPO法人北海道グリーンファンド 長野県飯田市 山形県立川町 兵庫県 和歌山県立紀北工業高等学校生産技術部	熊本県環境保全協議会	東北電力(株)海外事業プロジェクトチーム	(該当なし)
平成14年度	技術開発・製品化部門	対策技術普及・導入部門	対策活動実践部門	環境教育部門	国際貢献部門	学術研究部門
平成14年度	全国友の会	八ヶ岳環境対策協議会 札幌市水産物卸売協同組合、札幌青果卸売協同組合 東北エプソン(株) 佐川急便(株) (株)石井和絢建築研究所	長井市立豊田小学校 NPO法人家庭の環境管理・監査人協会 代沢地区エコライフ実践活動推進委員会 京のアジェンダ21フォーラム 宝酒造(株)	(株)エコトラック 栃木県立宇都宮工業高等学校 和歌山県高等学校教育研究会工業部会 EV ENJOY TRIAL 実行委員会	(該当なし)	中澤 高浩 (東北大学大学院理学研究科 大気海洋変動観測研究センター)
平成15年度	トヨタ自動車(株) 松下電器産業(株) (株)デンソー ダイキン工業(株)空調生産本部店舗システムグループ及び開発信頼性グループ 鐘淵化学工業(株)	エコ・パワー(株) (株)ニューオータニ 東京都サービス(株) 東海旅客鉄道(株) 富士市、富士商工会議所	エムサービス(株) 川口市環境会議 二見町(三重県) 地域ぐるみ環境ISO研究会 生活協同組合おおさかパルコープ	学校法人 美哉幼稚園 長野県長野工業高等学校環境システム班 (株)損害保険ジャパン、 (財)損保ジャパン環境財団	中国同人館	(該当なし)
平成16年度	技術開発・製品化部門	対策技術導入・普及部門	対策活動実践部門	環境教育部門	国際貢献部門	
平成16年度	ミサワ環境技術(株) マツダ(株) プリンス電機(株)及び岩瀬プリンス電機(株) キャンノン(株) 帝人ファイバー(株) (株)中島自動車電装 立山アルミニウム工業(株)	京都市バイオディーゼル燃料化事業技術検討会 (財)雪だるま財団 (株)ジオパワーシステム 池田 真昭 日産車体(株) スウェーデンハウス(株) 三菱地所(株) 沼田町役場 (有)佐用自動車整備工場	打ち水大作戦本部 篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会 立川町環境まちづくり推進ネットワーク 鳥取県立米子南高等学校 気仙沼地区エネルギー懇談会 旭化成ホームズ(株) EcoソウさんClubプロジェクト (株)ロソソ及び(社)国土緑化推進機構 東京電力(株) NPO法人カーシェアリングネットワーク「身近な食で地球を冷ませ！キャンペーン」(事務局) 東京ガス(株) NPO法人環境カウンセラー会ひょうご 東京都板橋区立板橋第七小学校 中島 達郎	東京都練馬区立高松小学校 浅羽中学校組合立浅羽中学校 椎野学園 米沢中央高等学校 NPO法人グリーン・エナジー・アライアンス NPO法人気象キャスターネットワーク 静岡県立磐田農業高等学校 名古屋市立田光中学校 静岡県立静岡農業高等学校	(該当なし)	
平成17年度	大阪ガス(株)、東邦ガス(株)、西部ガス(株)、本田技研工業(株)、(株)ノーリツ、(株)長府製作所、(株)井澤電子工業、新日本石油(株)、旭化成ホームズ(株)	医療法人敬仁会 介護老人保健施設アットホームくずまき 積水化学工業(株) 関西電力(株)、関電不動産(株)、関電エネルギー開発(株) 東京ガス(株) (株)一条工務店	NPO地域づくり工房 NASL 地球環境フォーラム 香川松下電工(株) 関西広域連携協議会 人吉・球磨自然保護協会 (株)八十二銀行 NPO法人白神山地を守る会 おおつ環境フォーラム	滋賀県立八幡工業高等学校 佐川急便(株) 川崎市立枳形中学校 NPO法人ワット神戸 松下グループ「地球を愛する市民活動」推進委員会 塩野 勝	アジアの森を育てる会	
平成18年度	旭化成ケミカルズ(株)、旭化成エンジニアリング(株)、(株)伊藤園、君津共同火力(株)、新日本製鐵(株)広畑製鐵所、東京電力(株)、富士重工業(株)、NECラミリオンエネジー、トマス技術研究所、(有)琉球動力、(株)大成電機製作所、日立アプライアンス(株)、(株)日立製作所電力グループ日立事業所	河北地域エコドライブ推進研究会 関西電力(株) キリンビール(株)神戸工場 神戸市 積水ハウス(株) 東急ホーム(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)日立製作所都市開発システムグループ	大阪友の会 (社)神奈川県トラック協会 東京電力(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)びわこ銀行 モトスミ・ブルーメン通り商店街振興組合、 かわさき地球温暖化対策推進協議会	愛知県宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校 浅野 智恵美 愛媛県立伊予農業高等学校 大牟田市立明治小学校 C・キッズ・ネットワーク (株)島津製作所「えーこクラブ」 常総市立絹西小学校 東京ガス(株) 藤本 晴男 三重県立四日市農芸高等学校 富津市立由良小学校	(株)ジェイベック	
平成19年度	エヌ・ケイ・ケイ(株) 大阪ガス(株) 東海旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株) 東京電力(株)、日野自動車(株)、(株)デンソー、大崎電気工業(株) 東芝ライテック(株) 東日本旅客鉄道(株) 松下電器産業株式会社汎用事業本部 ディスクリートビジネスユニット	アース化研(株) 板硝子協会 シャープ(株)AVC液晶事業本部(亀山工場) 積水ハウス(株) 大和ハウス工業(株) 奈良水道局 (株)星野リゾート	NPO法人 エコパートナーとっとり セブン-イレブンみどりの基金 大地を守る会 NPO法人丹後の自然を守る会 (社)東京都トラック協会 東濃ひのき製品流通協同組合 山万(株)、ユーカリが丘親子の日実行委員会	石川県立大聖寺高等学校 NPO法人エコネット上越 エコメッセ in ちば 実行委員会 鏡 宏一 (社)小林 由紀子 京都市立嵯峨野小学校 越谷市立大袋東小学校 須藤 邦彦 東京都立杉並工業高等学校 東京都立つばさ総合高等学校 名古屋市立東桜小学校 東近江市立能登川南小学校 三宅 直生 山梨市立笛川中学校	関西電力(株) ジャパン・フォー・サステナビリティ NPO法人福島県緑の協力隊	

	技術開発・製品化部門	対策技術導入・普及部門	対策活動実践部門	環境教育・普及啓発部門	国際貢献部門
平成20年度	アサヒビール(株) ウシオライティング(株) (株)竹中工務店 (株)前川製作所 ソフトバンクIDC(株) 日本電気(株) 日立アプライアンス(株)	かながわ電気自動車普及推進協議会 金沢市中央卸売市場 (株)滋賀銀行 (株)ひまわり (株)吉野家 キリンビール(株)福岡工場 菓鴨駅前商店街振興組合 生活協同組合連合会コープネット事業連合 奈良県水道局 山金工業(株)森田工場 有限責任事業組合佐久咲くひまわり	沖縄電力(株) 工藤建設(株) 信州省エネパトロール隊 NPO法人環境リレーションズ研究所 有限責任中間法人フロン 回収推進産業協議会	愛媛県立松山工業高等学校電子機械科 学校版環境ISO「さくらんぼ環境ISO」 (株)ナチュラルファームティ農園ホテル 香南市立野市小学校 静清信用金庫 竹重 勲 NPO法人紀州えこなびと NPO法人気象キャスターネットワーク 藤野 完二 みのおアジェンダ21の会 矢口 芳枝	NPO法人沙漠緑化ナゴヤ NPO法人日中環境保全 友好植林実践会
平成21年度	川崎重工業(株) 関西電力(株)、(株)日立製作所 富士通(株)	SRIハイブリッド(株)加古川工場 エルピーダメモリ(株)広島工場 三洋ホームズ(株) 大和ハウス工業(株) 那須野ヶ原土地改良区連合	(株)ローソン 滋賀県立大学環境マネジメント事務所 芝浦特機(株) 翔運輸(株)	石田 昭夫 くるくる研究会 黒谷 静佳 新庄市立沼田小学校 仙台市立北六番丁小学校 たいとう環境推進ネット環境学習部会 田村市立山根小学校 東京電力(株) 徳島県立貞光工業高等学校 NPO法人エコロジーアクション桜が丘の会 練馬区立富士見台小学校 秦野市立渋沢小学校 彦名地区チビッコ環境パトロール隊 広島県福山市立駅家西小学校 福井市環境パートナーシップ会議 北海道札幌藻岩高等学校 稚内新エネルギー研究会	(財)国際環境技術移転 研究センター
平成22年度	(株)プリテス特新事業開発本部 京セラ(株) コベルコ建機(株) 大成建設(株)、東光電気(株) 日本フネン(株)	大阪府水道部 (株)小松製作所小山工場 (株)都田建設 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 富士通(株) 富士通(株)	アースコン・マツド (株)スーパーホテル (株)マルハン 西濃運輸NPOネットワーク、 ぎふ・エコライフ推進プロジェクト実行委員会 東京電力(株)、川崎スチームネット(株) NPO法人そらべあ基金 湯河原町温室効果ガス削減 プロジェクトチーム	一般社団法人大丸有環境共生型 まちづくり推進協会(エコツヴァリア協会) 学校法人郡山開成学園 神奈川県立相原高等学校農業クラブ畜産科学分会 (株)エスバルス 熊本市立清水小学校 尼崎市立成良中学校 福山市立内海小学校 藤本 倫子	京都府立北桑田高等学校
平成23年度	サントリービジネスエキスパート(株) 東芝テック(株) (株)神戸製鋼所 富士ゼロックス(株) 海老名事業所	味の素(株)川崎事業所 淳工房 EVhonda(株) 飯田市、(財)飯伊地域産業振興センター、 飯田ビジネスネットワーク支援センター 熊本県立阿蘇清峰高等学校生物科学科 山梨県北杜市	日本興亜損害保険(株) 塩瀬自治会「しおみちエコ運動推進会」 京セラ(株)滋賀蒲生・八日町工場	渡邊 雄一 兵庫県立篠山東雲高等学校 静岡県立富岳館高等学校 市立御前崎総合病院花の会 大仙市立大曲南中学校 ミネ幼稚園 清水 映夫 福山市立旭丘小学校	(該当なし)
平成24年度	(株)資生堂 (株)神鋼環境ソリューション JX日鉱日石エネルギー(株) 日本郵船(株)、(株)MTI 福島工業(株)	(株)アミノアップ化学 (株)セブン-イレブン・ジャパン (株)豊田自動織機、(株)ナノフロンティア研究所、 学校法人近畿大学、大阪府森林組合 (株)ローソン	愛媛県立丹原高等学校 エコワークス(株)熊本支店 エンテック研究所 おひさま進歩エネルギー(株) (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所 京セラ(株)福島棚倉工場 日本興亜損害保険(株) 認定NPO法人おかやまエネルギーの 未来を考える会 美合温泉 ビレッジ美合館 ヤマト運輸(株) レンゴー(株)八潮工場	秋田市立秋田商業高等学校 ユネスコスクール班 岡田 清隆 高崎市立馬庭小学校 NPO法人環境保全会議あいづ NPO法人九州バイオマスフォーラム 朴 恵淑 秦野市立東中学校 東久留米市 市民環境会議くらし部会 福山市立旭小学校 山本 達雄	(該当なし)
平成25年度	(株)アマダ (株)NTTファシリティーズ (株)竹中工務店 (株)竹中工務店、(株)神鋼環境ソリューション 東海旅客鉄道(株) 東芝エレベータ(株) 東芝キャリア(株) (株)深井製作所 富士通(株)	清水建設(株) 学校法人東京電機大学 浜松ホトニクス(株) 本田技研工業(株)埼玉製作所 (株)ローソン	NPO地域づくり工房 温暖化防止ながれやま 岐阜市地球温暖化対策推進委員会 京セラ(株)鹿児島川内工場 ぐるっ都地球温暖化対策地域協議会、 特定非営利活動法人エコロジー夢企画 公益社団法人国際観光施設協会 後藤 昌弘 ユニカム(株)及びその生産グループ会社 自然と未来(株) 大成建設(株) 徳島カーボン・オフセット推進協議会 那須温泉地球温暖化対策地域協議会 奈良市地球温暖化対策地域協議会 日本興亜損害保険(株) 日本マイクロソフト(株) (株)ファンケル 湯原町旅館協同組合 横浜市戸塚区川上地区連合町内会	昭島市立拝島第二小学校 (株)アドバコム 飯尾 美行 NPO法人えどがわエコセンター NPO法人環境21の会 キリンビール(株)横浜工場 原 育美 農業生産法人有限会社FRUSIC 山本 悦子 横浜市資源リサイクル事業 協同組合	カネパッケージ(株) 東京海上日動火災保険(株) 公益社団法人日本マレーシア協会

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門
平成26年度	大阪ガス(株) KFT(株) 中国電力(株)、鹿島建設(株)、電気化学工業(株) 中国塗料(株) 東芝テック(株) (株)ブリヂストン タイヤ研究本部 マツダ(株)	NSスチレンモノマー(株) 三建設備工業(株) 大成建設(株)	アサヒビール(株)神奈川工場 大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課 大塚 栄次 「九州力作野菜」「九州力作果物」 プロジェクト共同体 京セラ(株) 鹿児島国分工場 月桂冠(株) 齋藤 好広 佐川急便(株) セコム(株) 損害保険ジャパン日本興亜(株) 高俊興業(株) THKリズム(株) 本社・浜松工場 (株)東芝 府中事業所 新潟県市町村職員共済組合 東久留米市 市民環境会議 新エネルギー プロジェクトチーム 富士フイルムテクノプロダクツ(株) 三菱マテリアル(株) 直島製錬所 森永乳業(株) 東京多摩工場 リコークリエイティブサービス(株) 神奈川事業部 リコークリエイティブサービス(株) 西日本事業部	くにびきエコクラブ 佐賀県佐賀市立全小中学校 土岐 泰 広島県福山市立赤坂小学校 福井県立小浜水産高等学校 海洋科学科マリンテクノコース Blue Earth Project 穂の国の森から始まる家づくりの会	緑化旅団 緑の大地
平成27年度	(株)エコファクトリー (株)大林組 (株)コロナ ダイキン工業(株) (株)竹中工務店、鹿島建設(株)、 国立大学法人東京工業大学、 日鉄住金高炉セメント(株)、 (株)デイ・シー、 太平洋セメント(株)、 日鉄住金セメント(株)、 竹本油脂(株) (株)竹中工務店、 国立大学法人京都大学 生存圏研究所 教授 五十田 博 日本郵船(株)、(株)MTI (株)ノーリツ	学校法人愛知学院 カンケンテクノ(株) J F E スチール(株) 東京ガス(株)	エア e ショップ21 ENEX(株) (株)エフビコ (株)大川印刷 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会 大森 利夫 京セラ(株) 滋賀野洲工場 甲州市塩山上東区 静岡ガス(株) 新関西国際空港(株) セコム(株) 日本生命保険相互会社 ファインモーターズスクール (株)メックecoライフ 三菱地所レジデンス(株) (株)山全 (株)横浜八景島 特定非営利活動法人WAKUWAKU西郷	静岡県立富岳館高等学校 嶋田 和夫 特定非営利活動法人センスオブアース・ 市民による自然共生パンゲア 特定非営利活動法人とちぎ生涯学習研究会 (代表 柴田 法幸) 見附市立葛巻小学校 米子工業高等専門学校 B&C研究同好会	(株)ローソン
平成28年度	(株)イノアック住環境 AGCガラスプロダクツ(株) 大阪ガス(株)、アイシン精機(株)、 京セラ(株)、(株)ノーリツ オーム電機(株) (株)コロナ、(株)デンソー J F E スチール(株) 日立ジョンソンコントロールズ空調(株) (株)デンソー (株)デンソーエアクール 東芝ライテック(株) パナソニック(株)	(株)NTTファシリティーズ 児嶋 啓三郎 積水ハウス(株) 静岡県駿東郡長泉町 西日本旅客鉄道(株) (株)日本海水赤穂工場 Fujisawa SST協議会 (株)マルト 国立大学法人三重大学	(株)一条工務店、 (株)日本産業 花王カスタマーマーケティング(株) 葛西 満里子 京セラ(株)京都綾部工場 地球温暖化防止を考える会 (株)東芝横浜事業所 (株)都市樹木再生センター TOTO(株)茅ヶ崎工場 ふじのくにエコチャレンジ実行委員会 弁天町共同ビル(株) 村木 正義	アースドクターふなばし 特定非営利活動法人アース ライフネットワーク 高知県地球温暖化防止県民 会議県民部会 真田 由美子 特定非営利活動法人鶴見川 流域ネットワーク 名古屋産業大学環境教育研究 プロジェクト 広島県立油木高等学校ミツ パチプロジェクト	日本赤十字社 一般財団法人日本品質保証 機構
平成29年度	鹿島建設(株)、 三和石産(株)、 学校法人東海大学 (株)セフト研究所 田中建材(株) 東芝キャリア(株)、 東北電力(株) 東芝ライテック(株) (株)豊田中央研究所 (株)ノーリツ 富士通(株)	青い森クラウドベース(株) (株)NTTファシリティーズ グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(株) 積水ハウス(株) (株)竹中工務店 東京都羽村市 長崎県島原市 (株)ホテルサンパレー (株)リコー 環境事業開発センター	「あかりの日」委員会 うどんまるごと循環コンソーシアム MS&ADインフラグループホールディングス(株) 大塚 英夫 京セラ(株) 北海道北見工場 倉持産業(株) 染井 正徳 千葉大学環境ISO学生委員会 低CO2川崎ブランド等推進協議会 東京エネルギー情報ネットワーク「TREIN」 東武沿線ゴルフ場連絡会 トヨタ自動車(株) プラント・環境生技部 山脇 一	大田区立大森第六中学校 岡本 正義 (株)タカラトミー 富岡 賢洋 港区教育委員会 MIYASHIROエコ☆スターズ 依田 浩敏	一般社団法人インドネシア教育振興会 CONTRAIL チーム 公益財団法人ひょうご環境創造協会



未来のために、いま選ぼう。